

茨木市スポーツ推進計画の進捗状況

市では、令和4年3月に茨木市スポーツ推進計画を改訂し、改訂後も引き続き、基本理念である「すべての市民がいつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らせるまちづくり」に向け、次の2つの基本目標と、基本目標達成に向けた9つの施策の方向性の指標について、茨木市スポーツ推進審議会において検証・評価し、計画を推進しています。

基本目標1 健康増進・生きがいづくりにつながる生涯スポーツの推進

全ての市民がいつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現と市民の健康づくりのため、幼児から青少年、働き世代、高齢者まで幅広い世代のニーズや障害の有無など、一人ひとりの身体の状態に応じて多様な参加ができるスポーツの機会の充実を図るため、次の指標を定めています。

【成果指標】

指標	策定時 (2015)	現状値 (2023)	目標 (2026)	資料
週1回以上の運動やスポーツに取り組む市民の割合	40%	-	50%	市民意識調査
今後、運動やスポーツを始めてみたいと思っている市民の割合	55%	-	65%	市民意識調査
市内で活動しているスポーツ団体を知っている市民の割合	36%	-	50%	市民意識調査

施策の方向性1 多様な生涯スポーツの普及・啓発

市民のスポーツへの自発的な参加を促進するため、市広報誌やホームページなどを通じて、スポーツ団体やサークルの情報、スポーツ大会やイベント、教室などに関する情報発信を充実します。

【成果指標】

指標	策定時 (2015)	現状値 (2023)	目標 (2026)	資料
運動やスポーツに参加するため、情報入手している市民の割合	55%	-	70%	市民意識調査

【令和5年度（2023）年度に実施した主な取り組み内容の紹介】

事業	取組内容	実施主体
スポーツ関連情報の積極的な発信	広報誌や市HP・SNS等を活用して各スポーツ教室や大会、イベント情報を提供	スポーツ推進課
トップアスリート支援事業	広報誌や市HPで認定選手等を紹介	
フレイル予防の周知	はつらつパスポート～みんなで元気編～などを活用し、フレイル予防の重要性を周知	長寿介護課

※フレイル：体力や気力、認知機能など、からだや心の機能の低下によって要介護に陥る危険性が高まっている状態のこと。

施策の方向性2 スポーツを通じた健やかな子どもの育成

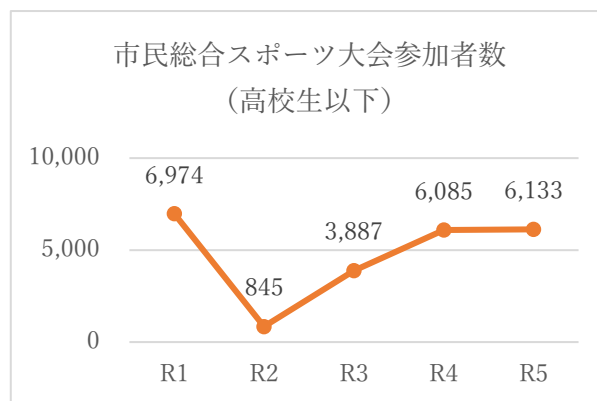
体育の授業や部活動の充実に努めるとともに、普段から親子が一緒になってスポーツに親しめる環境づくりを推進し、運動やスポーツ好きな、心身ともにたくましい子どもを育成します。

【成果指標】

指標	策定時 (2015)	現状値 (2023)	目標 (2026)	資料
市民総合スポーツ大会参加者数 (高校生以下)	7,245人	6,133人	8,000人	実績

令和5年度は、スポーツ活動も本格的に再開され、参加者数は増加しています。

引き続き、スポーツ大会やイベントを安全に運営することが求められます。



【令和5年度（2023）年度に実施した主な取り組み内容の紹介】

事業	取組内容	実施主体
総合型地域スポーツクラブ実施教室	ソフトバレー・卓球・テニス・サッカーなど、高校生以下の参加できる教室の実施	総合型地域スポーツクラブ
放課後子ども教室	タグラグビー、サッカー、ダンス、ソフトバレーボール、バスケットボールなどの教室の実施	社会教育振興課
ユースプラザ事業	卓球やバスケットボール、Eスポーツ等のスポーツ活動を実施	こども政策課

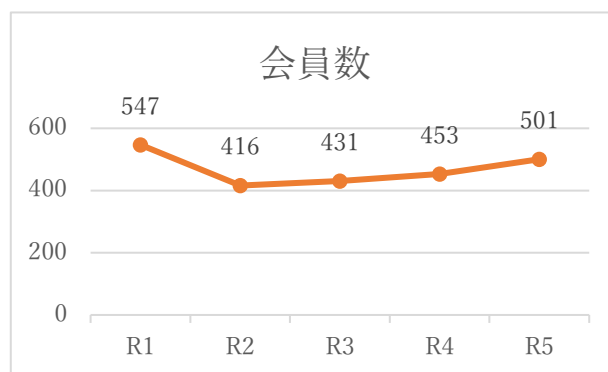
施策の方向性3 成人のスポーツへの参加機会の充実

市民がそれぞれの興味、体力、技能、目的等に応じて、誰もが気軽に運動やスポーツに親しむことができるよう、参加機会の充実に努めます。

【成果指標】

指標	策定時 (2015)	現状値 (2023)	目標 (2026)	資料
総合型地域スポーツクラブの20歳代～50歳代の会員数	512人	501人	700人	実績

働き・子育て世代をターゲットとした施策もあり、総合型地域スポーツクラブの会員数は徐々に増加傾向となっています。引き続き、気軽に運動やスポーツに取り組めるよう総合型地域スポーツクラブを支援し、スポーツやレクリエーションの機会の充実が求められます。



【令和5年度（2023）年度に実施した主な取り組み内容の紹介】

事業	取組内容	実施主体
アスマイルによるウォーキング啓発	ウォークラリー機能により、市内中心部を巡るコースを追加した。	健康づくり課
南市民体育館スポーツ教室	働き世代も参加しやすいように夜間の教室も開催	スポーツ推進課
謎解きウォーキング	子育て世代が気軽にウォーキングを楽しめるイベントを実施	スポーツ推進課

施策の方向性4 高齢者スポーツの推進

高齢者が身近な場所で、体力や身体の状態に応じて、スポーツで無理なく親しめる環境を整えるとともに、介護予防や健康寿命の延伸に効果的で、気軽に行える運動やスポーツの普及を図ります。

【成果指標】

指標	策定時 (2015)	現状値 (2023)	目標 (2026)	資料
週1回以上運動やスポーツに取り組む60歳以上の市民の割合	47%	-	60%	市民意識調査

【令和5年度（2023）年度に実施した主な取り組み内容の紹介】

事業	取組内容（実績）	実施主体
老人クラブ連携事業	老人クラブと連携し、ニュースポーツ大会、グラウンド・ゴルフ大会、スカイクロス大会を実施	地域福祉課
介護予防事業	65歳以上を対象に、運動器の機能向上、閉じこもり予防や筋力トレーニングなどの研修を実施	長寿介護課

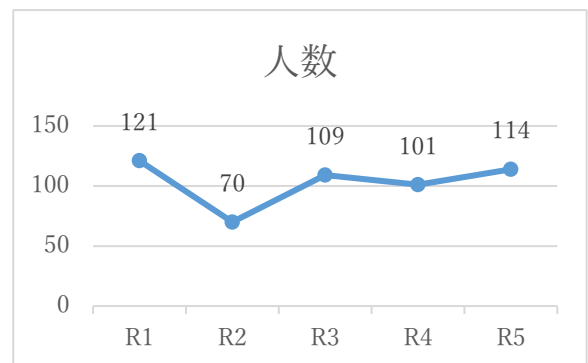
施策の方向性5 障害者スポーツの推進

障害のある人がスポーツに関心を持ち、参加できる機会を創出し、障害者スポーツの裾野が広がるよう取り組みます。また、障害のある人とない人がスポーツを通じて交流できる機会を充実します。

【成果指標】

指標	策定時 (2015)	現状値 (2023)	目標 (2026)	資料
障害のある人とない人のスポーツ交流会の参加者数	42人	114人	100人	実績

平成29年から障害のある人とない人が共に楽しめるスポーツイベントとしてボッチャ交流大会を実施しています。令和5年度は障害者の人数が29人となり、全体の25%を超えました。



【令和5年度（2023）年度に実施した主な取り組み内容の紹介】

事業	取組内容	実施主体
ボッチャ体験会	障害福祉センターと小学校でボッチャ体験会を実施	スポーツ推進課
総合型地域スポーツクラブふれあい事業	障害のある人とない人がボッチャを通じて交流する教室を実施	・茨木東スポーツクラブ レッツ ・茨木市スポーツ推進委員協議会
大阪府障がい者スポーツ大会への参加支援	各事業所等からの申込を取りまとめ、本市から陸上競技、ボウリングなど6競技65人が参加した。	障害福祉課

基本目標2 人材育成と施設整備によるスポーツ環境の充実

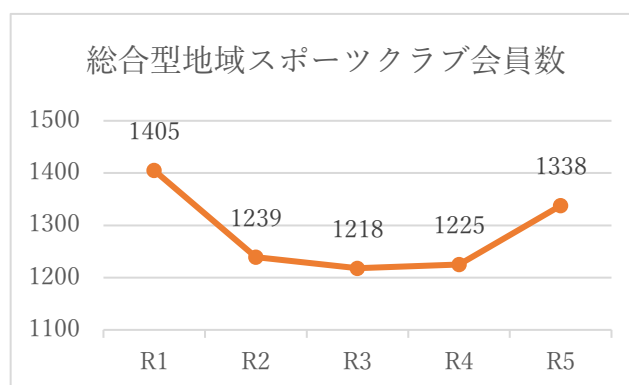
市民が正しい知識や技術等を習得できる環境を整えるため、スポーツ関係団体やスポーツ指導者の確保・育成が必要です。また、スポーツ関係団体や大学等との連携・協働を進め、これらの団体や人材をネットワーク化することにより、指導力の向上や生涯スポーツの活性化を図るため、次の指標を定めています

【成果指標】

指標	策定時 (2015)	現状値 (2023)	目標 (2026)	資料
総合型地域スポーツクラブの会員数	1,477人	1,338人	2,000人	実績
スポーツボランティアに参加したことがあるまたはしたいと思っている市民の割合	19%	-	30%	市民意識調査
公共スポーツ施設について満足と感じている市民の割合	79%	-	85%	市民意識調査

【総合型地域スポーツクラブの会員数】

比較的高齢者は増加が見込めますが、30歳～50歳代は減少傾向となっており、子育て世代・働き世代向けに対策が求められます。



施策の方向性1 地域スポーツの推進

スポーツ関係団体による地域におけるスポーツ活動の活性化をはじめ、総合型地域スポーツクラブの育成・支援などを通じて、市民の交流を深め、地域の一体感や活力の醸成につながるよう、地域のスポーツ活動を推進します。

【成果指標】

指標	策定時 (2015)	現状値 (2023)	目標 (2026)	資料
総合型地域スポーツクラブ運営団体数	2団体	2団体	3団体	実績

【令和5年度（2023）年度に実施した主な取り組み内容の紹介】

事業	取組内容	実施主体
公民館講座	各公民館で卓球・ソフトボール・3点バレーボール・ニュースポーツ等の講座を実施	社会教育振興課
市民スポーツフェスティバル	市民体育館、東市民体育館、桑原ふれあい運動広場で、スローイングビンゴなどのニュースポーツ大会、卓球やトランポリン、フットサル大会など、様々な競技や体験会を開催	スポーツ推進課
地区体育祭	市内32地区の内31地区で開催	スポーツ推進課

施策の方向性2 スポーツを支える人材の育成と支援

多様化した市民のスポーツニーズに対応した正しいスポーツの知識や技術のほか、スポーツ事故を防止するための安全確保に関する知識やノウハウを習得したスポーツ指導者の確保・育成を推進します。

【成果指標】

指標	策定時 (2015)	現状値 (2023)	目標 (2026)	資料
ニュースポーツの普及・指導を行っているボランティア団体の会員数	15人	23人	30人	実績

【令和5年度（2023）年度に実施した主な取り組み内容の紹介】

事業	取組内容（実績）	実施主体
スポーツ指導者講習会	熱中症対策、少年スポーツ指導の2つの研修会を開催	スポーツ推進課
スポーツボランティアの育成と活用	スポーツ推進委員等による公民館や各小学校での出張講座について、各連絡会等で周知	スポーツ推進課

施策の方向性3 スポーツ施設の整備・充実

市民がスポーツに親しみやすく、活動しやすい環境を整えるため、効果的・効率的な施設の更新について対応策を検討します。また、高齢者や障害者が利用しやすくなるよう、施設や整備のバリアフリー化を推進するとともに、ユニバーサルデザインの視点に立った施設整備を行うなど、スポーツ施設の利便性の向上を図ります。

【成果指標】

指標	策定時 (2015)	現状値 (2023)	目標 (2026)	資料
公共体育施設の整備か所数（多目的トイレの設置か所数）	10か所	12か所	13か所	実績

施設種別ごとの多目的トイレの整備状況（過去5年間）

施設種別	策定時	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
体育館	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4
プール	2/3	2/3	2/3	2/3	2/3
宿泊施設	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
グラウンド・庭球場	3/14	4/14	4/14	5/14	5/14
計	10/22	11/22	11/22	12/22	12/22

※2026年度に春日丘運動広場の整備を進める予定

【2023年度に実施した主な取り組み内容の紹介】

取組内容	実施主体
安威川ダム周辺多目的広場整備（設計委託）	スポーツ推進課
南市民体育館天井改修（工事）	
市民体育館第1体育室空調設備設置（機器製作）	
東市民体育館空調設備更新（修繕）	

施策の方向性4 連携と協働による生涯スポーツの活性化

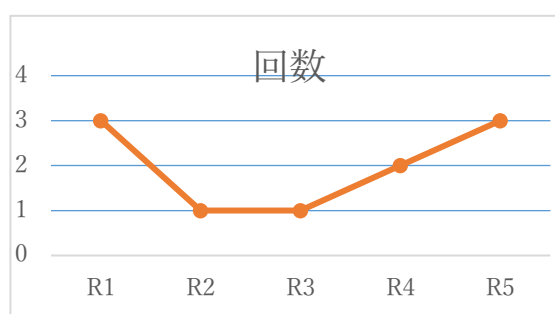
地域に密着したスポーツ活動を推進している体育協会やスポーツ少年団、スポーツ推進委員協議会、総合型地域スポーツクラブなどの関係団体等との連携を強化し、関係団体間の連携と協働による生涯スポーツの活性化を図ります。

【成果指標】

指標	策定時 (2015)	現状値 (2023)	目標 (2026)	資料
企業・大学等所属選手によるスポーツ教室等の実施回数	0回	3回	2回	実績

令和5年度のトップアスリート交流事業（プロ選手等による教室）として、大阪エヴェッサバスケットボールチームの現役選手を招き85人の小中学生が参加しました。

また、体育協会、スポーツ少年団やスポーツ推進協議会が連携して、キッズスポーツフェスタを開催し1,424人の園児・児童が参加しました。



【令和5年度（2023）年度に実施した主な取り組み内容の紹介】

事業	取組内容	実施主体
ボッチャ交流大会	例年12月に市民体育館で大学・支援学校・老人クラブ等が連携しボッチャ交流大会を開催	スポーツ推進課
スポーツ関係団体等の連携	大学・企業・スポーツ団体・官公庁が参加する「地域人材育成コンソーシアム」で男子バレーボール日本代表選手によるシンポジウムを開催した。	追手門学院大学
スポーツ関係団体等の連携	大学スポーツコンソーシアムKANSAIの学生参画プロジェクトで、立命館OICフューチャープラザでT.LEAGUEを開催した。	立命館大学